

創立147周年

9月号（令和2年8月31日発行）



*kurosyou-dayori*

# 鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

## 生きる力 学びの、その先へ

校長 森 愛子

夏休み明けも、野菜を収穫する2年生の嬉しそうな声が校長室の窓から聞こえてきます。休校中に教職員が植え、金子茂文さんにご指導いただきながら育ててきた野菜に、子ども達は毎日水やりをし、大きく育った野菜を収穫しては順に家に持ち帰ってきました。調理してもらい、お家の方と楽しく食べたり、お褒めの言葉をもらったりすることで、収穫の喜びが更に大きくなり、野菜を育てていること、つまり自分のやっている行動に対する価値付けができます。体験的な学習は、ただその体験が楽しいものだからだけでなく、そこには必ず人との出会いやつながりがあり、人に喜ばれるから頑張ることができ、その頑張りを認められた時に、自分はこんなことができると自信につながり、次の学びへの原動力となります。

9月には3年生の梨の収穫、10月には、時間差をつけ、3密を避ける工夫をしながら全校児童で稲刈りをする予定です。屋内に多くの方を集めることは難しいという理由で、今年度は土曜参観日を中止とさせていただきますので、保護者の皆様にはぜひ稲刈りへの参加をよろしくお願いいたします。授業参観については、11月の運動会以降分散して平日に行いたいと思っています。日程が決まり次第、早めにお知らせいたします。

今年度より新しい学習指導要領がスタートしましたが、今回の改訂には、「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を創っていきたい。」という願いが込められています。まさに、今、社会生活が大きく変わりました。学校生活においても、新しい生活様式の中で工夫しながら、周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業にしたいと思えます。

これまで同様、栽培活動や体験的な活動、伝統や文化に関する教育、言語能力の育成を大切にしつつ、新たにプログラミング教育や外国語教育などにも取り組み、教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業を創っていきます。地域と連携しよりよい学校教育を進め、社会に出てからも学校で学んだことを生かせるように、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの力をバランスよく育みます。

日々の授業の様子、子ども達の姿をお見せできないのが残念ですが、子ども達が「明日が楽しみ。」「毎日、来たい。」と思える学校生活となるよう、教職員一丸となって頑張りますので、どうぞご理解いただき、今後とも鉄小の子ども達を支え、見守っていただけますようお願いいたします。